

## 関係人口の増加を機軸とした移住・定住・交流人口対策事業の概要

### 1 目指す将来像（交付金対象事業の背景）

盛岡市においては、進学や就職の機会に東京圏へ転出する若者が増加しており、全国の市町村と比較しても東京圏から見た転入超過が大きいことから、「その地域に居住していないものの、出身者や勤務経験者であるなど、その地域との継続的な関わりがある人」という関係人口の考え方に重点を置きながら、東京圏での知識や経験を蓄積した若年層（おおむね 20～39 歳）の盛岡への人口の還流を促進することが移住・定住対策として有効であると考えられる。

本事業の展開により「盛岡」をキーワードに関係する人の量的な増加を図るとともに、受動的な関わりに留まらず、コミュニティに関わるキーパーソンの育成や、ふるさと納税を行うなど能動的に行動を起こす人の質的な充実を図ることで、移住・定住による人口の増加のほか、交流人口の増加によるまちの賑わいを創出し、盛岡市まち・ひと・しごと創生総合戦略の基本目標の1つとして掲げる「魅力と求心力がある東北の中核都市」の実現を目指そうとするものである。

### 2 構造的な課題

住民基本台帳人口移動報告で盛岡市の10～39歳の社会増減をみると、転出超過が年々拡大しており、転出者のうち約3割が東京圏へ転出している。

盛岡市が平成30年に東京圏及び宮城県へ転出したおおむね18～40歳を対象に行った「UIターンや盛岡との関わりに関する調査」によれば、盛岡に実家があり、「Uターン希望」の回答が約5割であり、そのうち約8割が情報収集などの行動に出ていない現状がある。また、「転出後も盛岡との関わりを持ちたいと思っている」の回答が約8割であり、東京圏での盛岡関連のお店や場所の情報、盛岡に関連する情報提供のニーズが高いが、情報が行き届いていないことが推測される。

東京圏において、盛岡出身者や居住経験者、東日本大震災の被災地支援で訪れたことがある人などを中心に、盛岡に愛着を持つ個人や団体が、祭や食などの「盛岡」に関連するキーワードで活動している事例があるが、個々の取組に留まっているため広がりに限界があり、また、盛岡で活動する際も交流拠点がないため、盛岡のキーパーソンとつながる機会が少なく、再訪の機会を失う要因となっている。

「いわてで働こう推進協議会」の平成29年に高校生や大学生等を対象とした調査によれば、「岩手県に本社がある企業を知らない、または知っている企業が5社以下」の回答が約9割にのぼるなど、若者が地元企業を知らない実態にあり、高校生等が盛岡で働くイメージを持ってないまま、東京圏へ進学してしまうことが、Uターン就職をするきっかけを作りにくくさせている可能性が考えられる。

### 3 事業概要（事業期間 2018～2020 年度）

野での現状や課題などの把握や既存事業との関係性を考慮した上で、イベント開催などのほか、マーケティング手法を構築しながらホームページやSNS、マスメディアによる双方向を意識した情報発信を行い、東京圏の潜在的な移住・交流ニーズに的確に対応することで、特産品購入やふるさと納税など東京圏にしながら盛岡との関係性を築くことができる環境を整備するものである。

また、高校生などの若者に盛岡で働くイメージを持つ機会を提供することで、長期的な視点から若者の盛岡への還流を促進するほか、東京圏からの交流や移住の希望者が、「仕事」や「暮らし」を一体的に体験できる環境や、地域と交流できる拠点を整備し、移住や交流につながる新たな仕組みを構築することで、移住・定住の促進を図ろうとするものである。

具体的には、地域おこし協力隊を配置しながら、以下の事業を実施しようとするものである。

#### (1) 関係人口の増加を機軸とした東京圏における移住・定住の促進

- ①盛岡ファン・コミュニティ活動の活性化、盛岡コミュニティ形成等に係るイベント開催、関係人口の対象となる人の把握やコミュニティ、関係性のある場所（飲食店、小売店など）のデータベース化
- ②東京における相談支援機能の強化（イベント出展、東京事務所でのテレビ電話環境の整備等）
- ③移住・定住に係る効果的な広報活動の展開  
特設ホームページの開設、PR冊子の作成、プロモーションツールの作成等

#### (2) 盛岡の暮らしや仕事を体験できる環境、官民連携の交流拠点の整備

- ①食文化、さんさ踊りなどの祭り、アウトドアスポーツなどの盛岡の暮らしを体験できるコンテンツ、中途採用向けのインターンシップなどの受入れ環境の整備
- ②高校生等が将来的に盛岡で働く・暮らすことをイメージできる冊子やwebページなどのコンテンツ作成
- ③盛岡と東京圏それぞれの、盛岡に関連するコミュニティや活動、キーパーソンをマッチングできる交流拠点の整備（民間団体等との連携による。）

#### (3) 新たなIT技術（AI, IoT, ブロックチェーンなど）を活用した広報・マーケティング戦略や、関係人口をつなぐ環境の整備

##### ①効果的な情報発信やマーケティング手法の構築

情報発信やイベント開催などの効果を検証するため、特設ホームページのアクセス解析などによるデジタルマーケティングを行うほか、マーケティング結果を基に、受け手に効果的に情報を伝えるためのデザインを追求した情報発信のアプローチや、人工知能（AI）の活用を検討など、より効果的な事業展開が可能となる環境を整備しようとするものである。

## ②関係人口をつなぐ新たな仕組みの構築

盛岡をキーワードとした仮想通貨の発行による交流促進の検討など、新しい IT 技術を活用しながら関係人口をつなぐことができる環境を整備しようとするものである。

## 5 本事業と関係性の高い事業

### (1) 地域おこし協力隊活用事業

関係人口を機軸とした移住・定住や交流人口対策に係る取組を推進するため、2019 年度も引き続き、地域おこし協力隊を 2 名程度配置するものである。

### (2) 盛岡広域移住・定住促進事業

岩手県や盛岡広域の 7 市町（八幡平市，滝沢市，葛巻町，岩手町，雫石町，紫波町，矢巾町）と連携し、盛岡の暮らしを体験できるツアー開催など移住・定住のプロモーションを行う。

### (3) 岩手県立大学地域協働研究事業

岩手県立大学地域協働研究を実施することで、大学における知見を活かした効果的な関係人口の新たな仕組みづくりの構築に向けた調査研究を行う。

## 6 本事業の重要業績評価指標（KPI）

事業を通して、盛岡を訪問した人数 30 年度 140 人 31 年度 100 人 32 年度 100 人

## 7 参考

事業計画期間における年度ごとの実施計画は以下のとおりです。

### (1) 2018 年度事業

#### <位置付け>

- ・東京での盛岡コミュニティ形成に向けた機運醸成
- ・盛岡での暮らしや仕事体験に向けた受け皿づくり
- ・効果的な広報戦略に向けたテストマーケティング
- ・関係人口をつなぐ新たな技術や交流拠点整備に向けた調査・研究

#### <概要>

### 1 関係人口の増加を機軸とした東京圏における移住・定住の促進

- (1) 盛岡コミュニティ形成等に係るイベント開催，データベース構築等業務
- (2) 盛岡ファン・コミュニティ活動支援
- (3) 移住・定住関連イベント出展等
- (4) 移住・定住促進のための特設ホームページの開設・保守に係る業務
- (5) 移住関連冊子の作成等に係る業務

- (6) 移住・定住に係る広告出稿
- (7) 移住・定住に係るプロモーションツールの作成等

## 2 盛岡の暮らしや仕事を体験できる環境、官民連携の交流拠点の整備

- (1) 暮らし体験コンテンツの掘り起こしや中途採用向けのインターンシップなどの受け入れ環境の整備
- (2) 高校生等が将来的に盛岡で働く・暮らすことをイメージできる冊子等のコンテンツ作成
- (3) 官民連携の交流拠点の整備に向けた事前調査

盛岡でのコンテンツやキーパーソンのほか、東京での盛岡に関連するコミュニティや活動やキーパーソンをマッチングできる交流拠点を、民間団体等と連携しながら整備する。30年度は関係人口をつなぐための盛岡及び東京圏での交流拠点のニーズ、運営経費、既存の拠点（官民間問わず）の活用について調査し、交流拠点が持つべき機能やあり方について調査を行う。

## 3 新たな IT 技術（AI, IoT, ブロックチェーンなど）を活用した広報・マーケティング戦略や、関係人口をつなぐ新たな仕組みの構築

- (1) IT 技術を活用した効果的な広報・マーケティング戦略や、関係人口をつなぐ新たな仕組み構築に係る調査研究
  - ・効果的な情報発信やマーケティング手法の構築
  - ・関係人口をつなぐ新たな仕組みの構築

## (2) 2019 年度事業

### <位置付け>

- ・東京圏での盛岡（人・場所）との可視化
- ・関係人口を増加させるための環境づくり
- ・ネットワークができるための場づくり
- ・マーケティングに基づいた戦略的な広報の展開のための体制づくり<概要>

## 1 関係人口の増加を機軸とした東京圏における移住・定住の促進

- (1) 盛岡コミュニティ形成等に係るイベント開催、盛岡関連スポットデータベースの運営等業務
- (2) 盛岡ファン・コミュニティ活動支援
- (3) 盛岡コミュニティに関する情報発信に係る業務
- (4) 移住・定住関連イベント出展等
- (5) 移住・定住促進のための特設ホームページの保守に係る業務
- (6) 移住・定住に係る広告出稿
- (7) 移住・定住に係るプロモーションディレクション及びプロモーションツール制作

等業務

- 2 盛岡の暮らしや仕事を体験・知ることができる環境，官民連携の交流拠点の整備
  - (1) 暮らし体験コンテンツの掘り起こしや中途採用向けのインターンシップなどの受入れ環境の整備
  - (2) 高校生等が将来的に盛岡で働く・暮らすことをイメージできるコンテンツ更新等
  - (3) 交流拠点の立ち上げ準備
- 3 新たなIT技術を活用した広報・マーケティング戦略や，関係人口をつなぐ環境の整備
  - (1) マーケティング分析に係る業務委託
  - (2) 関係人口をつなぐ新たな仕組みに係る調査研究

## 【2020年度事業】

### <位置付け>

- ・マーケティング結果に基づいた，新たな関係性が生まれるためのコンテンツづくりと広報戦略の展開
- ・データベースを活用した関係人口，民間企業・団体の事業参画の促進
- ・交流機能を持つ拠点の立ち上げ及びネットワーク化（東京圏におけるコミュニティ団体等の組織化を含む。）

### <概要>

- 1 関係人口の増加を機軸とした東京圏における移住・定住の促進（10,727千円）
  - (1) 盛岡コミュニティ形成等に係るイベント開催，盛岡関連スポットデータベースの運営等業務
  - (2) 盛岡ファン・コミュニティ活動支援
  - (3) 盛岡コミュニティに関する情報発信に係る業務
  - (4) 移住・定住関連イベント出展に係る業務等
  - (5) 移住・定住促進のための特設ホームページの保守に係る業務
  - (6) 移住・定住に係るプロモーションディレクション及びプロモーションツール制作等業務
- 2 盛岡の暮らしや仕事を体験・知ることができる環境，官民連携の交流拠点の整備
  - (1) 暮らし体験コンテンツの掘り起こしや中途採用向けのインターンシップなどの受入れ環境の整備
  - (2) 高校生等が将来的に盛岡で働く・暮らすことをイメージできるコンテンツ更新等
  - (3) 交流拠点のネットワーク化等に係る業務委託
- 3 新たなIT技術を活用した広報・マーケティング戦略や，関係人口をつなぐ環境の整備

- (1) 官民連携による広報・マーケティング戦略推進等に係る業務
  - ・ 広告出稿及びアクセス分析等に係る業務
  - ・ マーケティング専門人材の招聘及びマーケティング戦略の立案及び実施等に係る業務
  - ・ 広報専門人材の招聘及び広報戦略の立案及び実施等に係る業務
- (2) 関係人口をつなぐ新たな仕組みの構築に向けた試行実施に係る業務委託

<ウェブサイト>

盛岡市の地方創生の取組について

<http://www.city.morioka.iwate.jp/shisei/machizukuri/1022552/index.html>

<http://www.city.morioka.iwate.jp/shisei/keikaku/sogotekiplan/1009759.html>

移住・定住促進について

<http://www.city.morioka.iwate.jp/kurashi/1027361/1027362/index.html>

<http://www.michinokumoriokakoiki.jp/>

<https://planetmorioka.jp/>